マンションは“5棟(ムネ)”？“5棟(トウ)”？

～2014年「ことばのゆれ調査」から①～

メディア研究部　滝島雅子／塩田雄大／山下洋子／太田眞希恵

2014年におこなった「ことばのゆれ調査」の結果について，考察を加えながら2回に分けて報告する。
▼助数詞「棟」の読みについては，「平屋建ての住宅」の場合は5割の人が「ムネ」と読む一方で，マンションなどの場合は7割以上の人が「トウ」と読むことがわかった。
▼連濁のゆれに関する語「通りかかる／通りがかる」「奥ふかい／奥ぶかい」「声かけ／声がけ」では，「通りかかる」「奥ぶかい」「声かけ」が多数派であった。
▼促音のゆれに関する語「煮ころがし／煮っころがし」「ありたけ／ありったけ」「ひざこぞう／ひざっこぞう」では，「煮っころがし」「ありったけ」「ひざこぞう」が圧倒的に多い。
▼事物・概念としてほぼ同じもの・ことを指す「ワイシャツ／カッターシャツ」「おとおし／つきだし」「つまみ／あて」「駐車場／ガレージ」では，「カッターシャツ」「つきだし」と言う人は西日本全体で，「あて」「ガレージ」と言う人は関西地域でそれぞれ全国平均より多く，地域差が認められた。

はじめに

住宅や建物を数える際に，「1棟（ムネ），2棟（ムネ）…」と数える人もいれば「1棟（トウ），2棟（トウ）…」と数える人もいる。また，「ひざがしら」のことを「ひざこぞう」と言う人も「ひざっこぞう」と言う人もいる。このように，同じもの・同じことを表現するのに複数の言い方・書き方などが一つの時代・一つの社会で共存している状態のことを，「ことばのゆれ」と呼ぶ。

本稿では，2014（平成26）年1月に実施した「ことばのゆれ調査」（全国満20歳以上の男女1,339人が回答，詳細は稿末の単純集計結果を参照）から，特に興味深い傾向を示した項目について取り上げ，2回に分けて考察を加えながら報告する。

今号の章だてと取り上げる語は以下のとおりである。

1. 助数詞「棟」の読み

2. 語形のゆれ～連濁と促音～
「通りかかる」と「通りがかる」
「奥ふかい」と「奥ぶかい」
「声かけ」と「声がけ」
「煮ころがし」と「煮っころがし」
「ありたけ」と「ありったけ」
「ひざこぞう」と「ひざっこぞう」

3. 語形のゆれ～地域的分布～
「ワイシャツ」と「カッターシャツ」
「おとおし」と「つきだし」
「つまみ」と「あて」
「駐車場」と「ガレージ」

なお，「1.助数詞「棟」の読み」については滝島が，「2.1.連濁のゆれ」については太田が，「2.2.促音のゆれ」については山下が，「3.語形のゆれ～地域的分布～」については塩田がそれぞれ執筆した。

1. 助数詞「棟」の読み

本章では，建物を数えるときの助数詞「棟」の読みについて，調査の結果を報告する。今回の調査結果は，2014（平成26）年2月におこなわれた第1379回放送用語委員会の審議にも参考にされ[1]，NHKではこれまで「ムネ」のみとしてきた「棟」の読みに「トウ」を加えるとした新たな「用語決定」の根拠ともなった。ここでは，詳しい調査の内容と決定までの過程を報告する。

1.1 NHKにおける助数詞「棟」の扱い

建物を数える助数詞には，「軒」「戸」「棟」などがある。このうち「棟」は，住宅・アパート・倉庫・工場などを数えるときに使われ，放送の場合，例えば，ニュースの原稿では，以下のような用例で現れる。

ア）台風の影響で，およそ100棟の家屋が床上浸水しました。
イ）15棟のマンションが一時避難施設になっています。

NHKでは，このような助数詞「棟」の読みについては，1966（昭和41）年の第626回放送用語委員会の決定[2]以降，「ムネ」のみとし，「トウ」は使わないとしてきた[3]。その理由としては，助数詞「棟」の読みは伝統的には「ムネ」であること，「ムネ」のほうが「トウ」に比べて耳で聞いてわかりやすいこと[4]，特に災害での建物被害の数を伝える場合，「ムネ」で統一しているほうが放送現場の迷いや混乱を避けられること，などがあげられる（山下洋子（2014），滝島雅子（2014））。

しかし，近年，特に上記のイ）のような，ビルやマンションなどを数える場面で，放送現場から違和感を訴える声や，「トウ」の読みを使ってもよいかといった問い合わせを多く受けるようになった。以下は，2013（平成25）年12月に開かれた放送用語委員会（札幌）で出された放送現場からの実際の意見である。

> ビルであっても数を数えていうときは，（NHKのルールにのっとり）「～むね」と決めて放送しているが，（中略）「2棟のビルが建設されました」となると，「ふたむねのビル」という読み方に引っかかる人もいるかもしれないと，若干迷いが生じる。
>
> （「放送用語に関する質問　第1377回放送用語委員会（札幌）」より）

こうした意見の背景として，ビルやマンションなどを数えるときは，「ムネ」よりも「トウ」のほうが違和感がないという放送現場の意識と，NHKの従来のルールとの間にずれが生じていることが予想された。

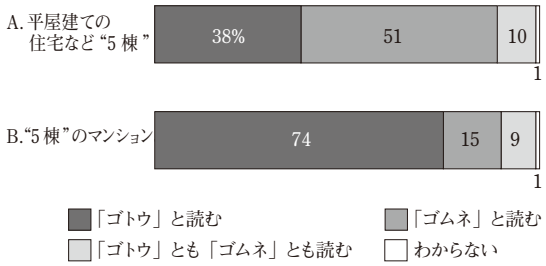
1.2 調査結果

助数詞「棟」の2つの読みが，実際に世の中でどのように使われているかを探るため，調査では，以下の2つの用例で，「ムネ」と「トウ」のどちらを選択するかをたずねた。

A．平屋建ての住宅など“5棟”
B．“5棟”のマンション

まず，Aの「平屋建ての住宅など“5棟”」の場合は，半数を超える51%の人が「ムネ」を選択した。しかし，「トウ」と読む人も38%，「ムネ」とも「トウ」とも読む人も10%いることから，「ムネ」と「トウ」の両方の読みの間でゆれがあることがわかった（**図1/A**）。

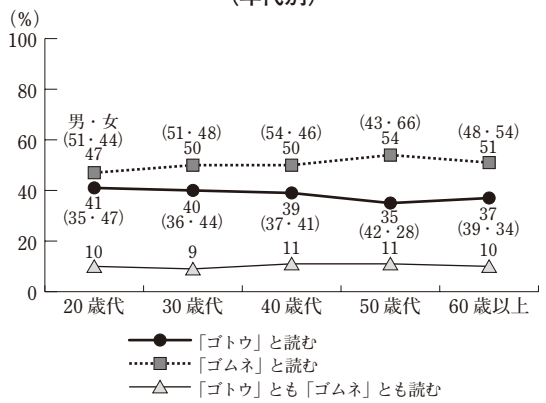
図1　助数詞「棟」の読み～「ムネ」か「トウ」か



一方，B「“5棟”のマンション」の場合は，「トウ」と読む人が74%ともっとも多く，一般的に「マンション」などの建物では，「トウ」の読みが定着していることがうかがわれた（**図1/B**）。

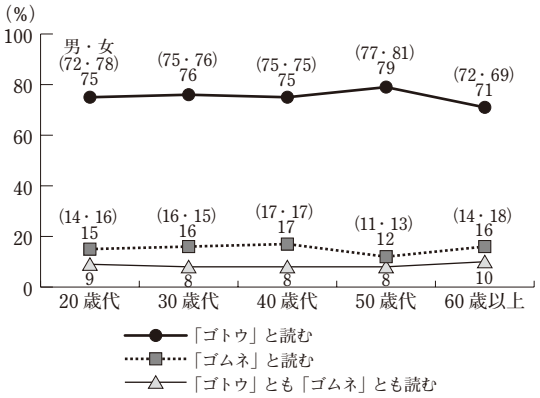
これを年代別にみると，Aの「平屋建ての住宅」については，年代が低いほうが，「ムネ」と「トウ」の差が縮まる傾向にあり，20歳代では，それぞれ47%と41%で拮抗していることがわかった。また，高年層のほうが，「トウ」に比べて「ムネ」を使う割合が高く，特に50歳代の女性が66%と高い結果となった。

図2　A. 平屋建ての住宅など“5 棟”（年代別）



また，Bの「マンション」については，目立った年代差，男女差はなく，「トウ」と読む人が7割を超えていることがわかった（**図3**）。

図3　B.“5 棟”のマンション（年代別）



さらに，A（平屋建ての住宅）とB（マンション）で，「ムネ」と「トウ」の選択にどのような傾向があるかを探るため，AとBの回答のパターンによって，全体を以下のように分けてみた。

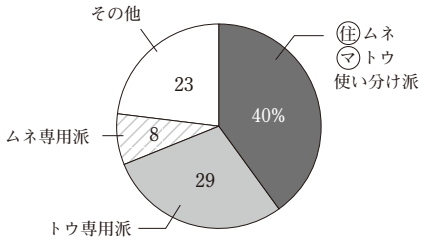
- A，Bともに「ムネ」と読む
- A，Bともに「トウ」と読む
- Aでは「ムネ」，Bでは「トウ」と読む
- Aでは「トウ」，Bでは「ムネ」と読む
- A，Bともに，どちらの読みも使う
- Aでは「ムネ」，Bではどちらも使う
- Aでは「トウ」，Bではどちらも使う
- Aではどちらも使うが，Bでは「ムネ」
- Aではどちらも使うが，Bでは「トウ」
- その他

その結果，以下の3つが上位を占めた（**図4**）。

・Aでは「ムネ」，Bでは「トウ」：40%
　⇒平屋建ての住宅では「ムネ」と読み，マンションでは「トウ」と読む人
　（“㊟ムネ㋮トウ使い分け派”とする）

・A，Bともに「トウ」：29%
　⇒平屋建ての住宅でもマンションでも「トウ」と読む人
　（“トウ専用派”とする）

図４　「ムネ」「トウ」の選択傾向



・A，Bともに「ムネ」：8%
　⇒どちらの場合も「ムネ」と読む人
　　（“ムネ専用派”とする）[5)]

この結果から，助数詞「棟」の読みについては，以下の点が指摘できる。

・４割の人が，平屋建ての住宅には「ムネ」，マンションには「トウ」という使い分けをしている。
・数える建物の形態（平屋かマンションか）にかかわらず，「トウ」しか使わない「トウ専用派」が３割弱いる。
・「ムネ」しか使わない「ムネ専用派」は，8%にとどまり少数派である。

図４に斜線で示した「ムネ専用派」は，いわばNHKの従来のルールに合致している人たちであるが，もはや1割にも満たない。一方で，「マンション」には「トウ」を使う人，あるいは，助数詞「棟」は「トウ」としか読まない人が多くなっているという結果となった。

1.3 助数詞「棟」の辞書での扱い

助数詞「棟」について，「トウ」の台頭を示す今回の調査結果は，辞書調査によっても裏付けることができる（**表1，p.82表9**）。本来「むね」とは，「屋根の最も高いところ，また，そこに渡す材である棟木のこと」（『日本国語大辞典（第2版）』（2001））で，転じて家屋を数えることばとしても使われるようになった。そこに中国から入ってきた同じような意味をもつ漢字の「棟」が当てられたと考えられる（滝島雅子（2014））。したがって，伝統的には「ムネ」であり，国語辞書でも，「トウ」の読みを立項する辞書はもともとなかった。しかし，昭和30年代になって認める辞書が出始め[6)]，調査した平成の辞書ではおよそ3分の1が「トウ」の読みを立項している。

「トウ」が増えてきた背景として，まず明治以降の近代化のなかで，従来の「むね」を持たない大型の建物が続々と出現したことがあげられよう。また，鉄筋コンクリートの集合住宅が増えたことで，建物を「1号棟，2号棟…」と番号を付けて呼ぶ必要も出てきた。ビルが増えるにつれ，「研究棟」「実験棟」「管理棟」などの複合語も一般化し[7)]，「棟」の音読みの「トウ」が世の中に浸透していった。さらに，昭和30年代以降，高度経済成長の影響で，ビルが一層高層化していったことも大きい（山下洋子（2014），滝島雅子（2014））。

どのような建物を「トウ」で数えるのかについては，辞書によって語釈が異なるが，大きい建造物に用いるという点でおおむね一致している[8)]。

表１　助数詞としての「棟（ムネ）」と「棟（トウ）」の掲載（辞書類での扱い／全61冊）

	大正以前	昭和（戦前）	昭和（戦後）	平成
ムネ	12［12］	9［9］	8［8］	15［14］
トウ	0	0	2［2］	5［5］

大正以前：江戸時代から大正時代までに発刊された辞書（対象21冊）
昭和（戦前）：昭和元年から昭和20年の間に発刊された辞書（対象14冊）
昭和（戦後）：昭和21年から昭和63年の間に発刊された辞書（対象10冊）
平成：平成になってから発刊された辞書（対象16冊）
※『NHK日本語発音アクセント辞典』は対象外。
※数値は，主見出し・空見出しや「～とも言う」など，何らかの形でその語形が掲載されている辞書の数を表す。両方の語形が掲載されている場合，それぞれにカウントしてある（ただし，読みがわからない掲載例はカウントしていない）。カギカッコ（［ ］）内は，そのうち主見出しとして掲載されている辞書の数。
※以降の表2・4・5～7も同じ。詳細はp.82～83の表9を参照。

1.4 決定の見直しと今後の課題

以上の調査結果を踏まえ，2014（平成26）年2月の第1379回放送用語委員会で，助数詞「棟」に関して，改めて以下のように決定し，『NHK日本語発音アクセント辞典』（以下，『NHKアクセント辞典』）（1998年版）および『NHKことばのハンドブック第2版』（2005）にも変更を加えた[9]。

助数詞「棟」の読み

> **第1379回放送用語委員会（2014（平成26）年）**
> 【決定】
> **［ムネ］**
> **（マンションやビルなどの場合は［トー］も）**
> ※ それ以前は
> 一般・災害時ともに　○ムネ，×トー[10]

災害時の対応などを考慮して，原則は従来どおり「ムネ」とするものの，マンションやビルなど，大型（高層）の建物には「トウ」も認める内容となった。これにより，助数詞「棟」の読みは，一層，実態に沿った運用に近づいたと言えよう。

この決定に先立ち開かれた放送用語小委員会では，「一般的な認識に近づく改訂で好ましい」とする一方で，「数える建物によって「ムネ」と「トウ」のどちらを使うべきか，とっさに判断するのは難しい」といった意見や，「一般的な使い方として「ムネ」は小さい住宅，「トウ」は大きな建物という印象はあるが，具体的にどのように使い分けるのかを決める必要はないか」といった意見が出た（山下洋子（2014））。この「使い分け」については，ビルや住宅だけでなく，倉庫・工場・体育館など様々な種類の建物について，その大きさや建物の形態から判断してどう数えるのがふさわしいのかという問題もある。今後はさらに，「棟」も含めた建物の助数詞の世の中での使われ方を見極め，どんな場面でどのように使い分けるのが放送上適切なのか，その運用の仕方を具体的に検証し，現場に示していくことが求められよう。

2. 語形のゆれ ～連濁と促音～

NHK放送文化研究所（以下，文研）放送用語・表現班では，『NHKアクセント辞典』の改訂作業を進めるなかで，語形に「ゆれ」のある掲載語について調査し検討を重ねている。本章では，連濁と促音に関する6語について報告する。

2.1 連濁のゆれ

調査語は次の3語である。

1. 「通りかかる」と「通りがかる」
2. 「奥ふかい」と「奥ぶかい」
3. 「声かけ」と「声がけ」

2.1.1 「通りかかる／通りがかる」

①「動詞＋動詞」の複合語の発音

動詞と動詞が複合してできた語（「追いかける」「聞き込む」「積み重ねる」など）は，ふつう連濁しないと指摘されてきた[11]。しかし，それらの語の中には，伝統的には連濁の傾向に合致して非連濁形で発音されていたが，徐々に連濁形へと変化してきたものがある（「着替える」「返り咲く」「凍え死ぬ」（太田眞希恵（2010），太田眞希恵・山下洋子（2012））。これらの語に共通するのは，名詞では「キガエ」「コゴエジニ」「カエリザキ」という連濁形をとるという点である。NHKではこれらの語について，そのつど調査をおこなって変化を把握し，「用語決定」を経て放送で使用する語形を変更してきた[12]。

「着替える」

第 594 回放送用語委員会 (1965 (昭和 40) 年)
【決定】1. キカエル　2. キガ゛エル
※ それ以前は「キカエル」のみ

第 1195 回放送用語委員会 (1999 (平成 11) 年)
【決定】1. キガ゛エル　2. キカエル

「返り咲く」「凍え死ぬ」

第 1379 回放送用語委員会 (2014 (平成 26) 年)
【決定】
1. カエリザク　2. カエリサク
ただし,「返り咲き」は「カエリザキ」。
※ それ以前は「○カエリザク　○カエリサク」

1. ココ゛エシヌ　2. ココ゛エジヌ
ただし,「凍え死に」は「ココ゛エジニ」。
※ それ以前は「ココ゛エシヌ」のみ

「通りかかる／通りがかる」も，名詞では「トオリガカリ」という連濁形をとり，動詞では「トオリカカル」という非連濁形をとる語であるが，過去の放送用語委員会において「動詞にも連濁形トオリガカルが現れている」と指摘されたり，放送現場から「動詞はトオリカカルなのか，トオリガカルなのか」という質問が寄せられたりしてきた[13]。この語について文研ではこれまでも複数回の調査をおこなってきたが[14]，今回も『NHKアクセント辞典』改訂を機に改めて調査したものである。

②調査結果

調査結果は，次のとおり伝統的な非連濁形で言う人が74%であった[15]。

Q. 事故現場を通り掛かる
トオリカカル　・・・ 74%
トオリガカル　・・・ 25%

年代別では，「トオリカカル」と言う人がもっとも多いのは50歳代の82%であったが，全体として顕著な年代差は見られない。全体から見ても，年代別に見ても，「着替える」「返り咲く」「凍え死ぬ」ほどには連濁化が進むことなくとどまっている。

③ NHK および辞書での扱い

『NHKアクセント辞典』では1943年版以降，一貫して「トオリカカル」という非連濁形のみを掲載してきた。

国語辞書では，連濁形「トオリガカル」を掲載する辞書は古い時代からあるが非連濁形「トオリカカル」のほうが多く，平成になってからはこの語を掲載する辞書のうちすべてが非連濁形「トオリカカル」を主見出しとしていることがわかる (**表2**)。

表 2　トオリカカルかトオリガカルか
(辞書類での扱い／全 61 冊)

	大正以前	昭和(戦前)	昭和(戦後)	平成
トオリカカル	5 [5]	10 [9]	9 [9]	16 [16]
トオリガカル	2 [2]	3 [2]	0	3 [0]

④「～かかる／がかる」の発音

現行の『NHKアクセント辞典』(1998年版) に掲載されている「～かかる／がかる」という語を調べてみると，以下の31語が掲載されているが，「動詞 (連用形) ＋かかる」はすべて [～カカル] と非連濁形であることがわかる (**表3**)。一方で，[～カ゛カル] は2語とも名詞の後ろに「かかる」が付いた形である[16]。

表3 「～かかる／がかる」の発音
（『NHK アクセント辞典』（1998））

～カカル	行（イ）きかかる，襲いかかる，落ちかかる，躍りかかる，来かかる，切りかかる，崩れかかる，食ってかかる，暮れかかる，さしかかる，しなだれかかる，死にかかる，散りかかる，つかみかかる，突きかかる，突っかかる，出かかる，出来かかる，通りかかる，飛びかかる，取りかかる，のしかかる，乗りかかる，引っ掛かる，降（フ）りかかる，もたれかかる，行（ユ）きかかる，寄っかかる，寄りかかる
～カカル，～カ゜カル	（なし）
～カ゜カル	黒みがかる，時代がかる

連濁については，同じ後部要素をもつ他語に連濁形で発音するものが多いと，その語も連濁形へと変化すると考えられるものがある（太田眞希恵・山下洋子（2012））。この傾向を当てはめてみると，「通りかかる」については，名詞「通りがかり」が連濁形であることからの影響があるとはいえ，（「～がかる」という接尾語が少なからぬ造語力をもっていることを勘案しても）同じ後部要素をもつ他語に連濁形で発音するものがそれほど多くはないため，伝統的な非連濁形が残っているのかもしれない。

2.1.2「奥ふかい／奥ぶかい」

①前回の調査結果と用語の決定

「奥深い」については，2011（平成23）年の「ことばのゆれ調査」で「奥深い作品」という場合にどう読むかについて調べ，「オクブカイ」という連濁形で発音する人が8割以上であることがわかっている（太田眞希恵・山下洋子（2012））。NHKではこの調査結果をはじめ辞書調査[17]などもしたうえで，2014年2月の第1379回放送用語委員会で以下のように決定し，『NHKアクセント辞典』にも変更を加えた[18]。

「奥深い」

第1379回放送用語委員会（2014（平成26）年）
【決定】1. オクフカイ　2. オクブカイ
※それ以前は「オクフカイ」のみ

②調査結果

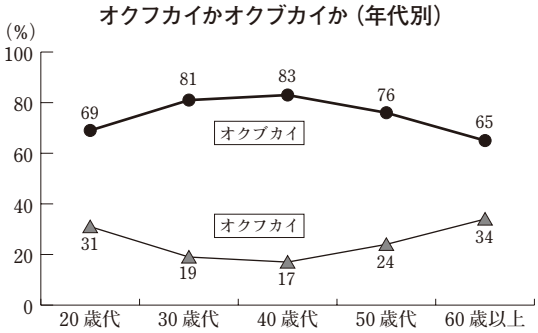
本調査は，上記の放送用語委員会の決定に先立ち，同じ「奥深い」という語でも，意味の違いによって発音に違いがあるかどうかについて調べるため，前回とは違う例文を提示しておこなったものである[19]。結果は下記のとおりで，前回の「奥深い作品」ほどではないが，「奥深い場所」という場合にも「オクブカイ」という連濁形で発音する人が7割以上を占めた。

Q. 山の奥深い場所にある湖
オクフカイ　・・・・ 26%
オクブカイ　・・・・ 73%

年代別では，30歳代と40歳代では「オクブカイ」と発音する人が8割以上である。一方で，20歳代および60歳以上では7割弱で，およそ3人に1人が「オクフカイ」と非連濁形で発音していることがわかる（**図5**）。

「～深い」という結合形容詞については，ほとんどの語が連濁形「～ブカイ」をとっているの

図5 山の“奥深い”場所にある湖
オクフカイかオクブカイか（年代別）



だが（太田眞希恵･山下洋子（2012）），「奥深い」も意味の違いにかかわらず「オクブカイ」という連濁形で発音されることが圧倒的に多くなっていることが改めて確認された。

2.1.3「声かけ／声がけ」

① NHK および辞書での扱い

『NHKアクセント辞典』ではこれまでこの語を掲載してこなかった[20]。国語辞書でも立項のあるものは少ないが，古い時代には非連濁形「コエカケ」を主見出しにして掲載していたものもあることがわかる（**表4**）。

表4　コエカケかコエガケか（辞書類での扱い／全61冊）

	大正以前	昭和（戦前）	昭和（戦後）	平成
コエカケ	2［2］	1［1］	0	1［0］
コエガケ	4［4］	2［2］	2［2］	2［2］

②連濁の傾向からみれば「声かけ」

「名詞＋動詞連用形」の語は，副詞的連用修飾関係では連濁しやすく格関係では連濁しにくいと指摘されてきた（佐藤大和（1989））。「声かけ／声がけ」については，同著で指摘されている「「…を…すること」の意味で，作業，仕事，遊び等を示すときは，連濁を生じない[21]」にあたるので，この連濁の傾向に沿うならば「コエカケ」という非連濁形になると考えられる。

③調査結果

調査結果は下記のとおり，非連濁形「コエカケ」と言う人が7割以上であった。

Q.　近所の人に<u>声掛け</u>する
　　コエカケ　・・・・・ 72%
　　コエガケ　・・・・・ 27%

年代差はほとんどない。また，大きくはないが男女差があり，「コエガケ」と連濁形で言う人は女性が25%であるのに対し男性は30%であった。

「声掛け」に「お」を付けた「お声掛け」ということばについては，2012年10月に『お元気ですか日本列島』（NHK総合）の「ことばの宝船」のコーナーで「新語」として取り上げている[22]。この放送の際に担当のNHKアナウンサーは「お声がけ」と連濁形で発音していたし，インタビューを受けた一般の人も連濁形で答えていた。「声掛けする」という形であれば非連濁形「コエカケ」だが，接頭語「お」がつくと連濁形「オコエガケ」が出やすくなるのかもしれない。

2.2 促音のゆれ

促音を含む形と含まない形の両方の形があることばについて，どちらを使うかを聞いた。調査語は次のとおり。

1.「煮ころがし」と「煮っころがし」
2.「ありたけ」と「ありったけ」
3.「ひざこぞう」と「ひざっこぞう」

「促音」は，和語・漢語の場合，一部の方言を除いて，語中の無声閉鎖音k，t，pや無声摩擦音sの前で起こる[23]。「いっぱい」のように，促音を含む語しかないもののほかに，促音を含まない語と含む語とが同じ意味で使われる場合がある。今回の調査語は後者のようなことばである。

促音を含まない形の語に加えて，促音を含む形の語が併用される場合，促音を含む形の語のほうが，その音の性格から強調の響きが意識されるようになった（柳田征司（2003））。例

えば，「とても」に対しての「とっても」のような場合である。また，方言によって促音が入ることもある。関東地方のことばの特色として「促音化の傾向」があげられる。例えば，「川縁（かわぶち）」を「かわっぷち」と言ったり，「青ばな」を「あおっぱな」と言ったりする（金田一春彦（2005））。そのほか，「促音」を含む形の語は俗な感じを与える場合もある。

2.2.1「煮ころがし／煮っころがし」

①辞典での扱い

「ニコロガシ」「ニッコロガシ」は，「煮崩れしにくい材料を少量の煮汁で煮上げる煮かた。焦げつかぬよう転がしながら煮詰める」（『改訂調理用語辞典』全国調理師養成施設協会編・2002（平14）第4刷）という意味の語である。「煮かた」（作り方）のほかに，「煮た物」（料理名）も指す。里芋やクワイなどを材料にして作られる。「転がしながら煮る」ことから「煮転がし」となった。

現在の国語辞書では「ニコロガシ」を主見出しにして，「ニコロガシ」からの変化として「ニッコロガシ」も示すものが多い**（表5）**。

文研に保存されている辞書の中で，大正以前や昭和（戦前）のものは「ニコロ**バ**シ」を主見出しにするものが多い。「ニコロガシ」は『広辞苑』の初版（1955（昭30）・岩波書店）で，「ニコロバシ」の説明として出てくる。また「ニッコロガシ」は『日本国語大辞典』の初版（1975（昭50）・小学館）に現れる。主見出しは「ニコロバシ」である。「ニコロガシ」が主見出しとして見られるのは，『新明解国語辞典』の初版（1972（昭47）・三省堂）から，また，「ニッコロガシ」が主見出しとして出てくるのは，『現代新国語辞典』の第4版（2011（平23）・三省堂）からである。

表5　ニコロガシかニッコロガシか
（辞書類での扱い／全61冊）

	大正以前	昭和（戦前）	昭和（戦後）	平成
ニコロガシ	0	0	4［1］	15［11］
ニッコロガシ	0	0	2［0］	12［4］
ニコロバシ	6［6］	9［9］	7［7］	2［2］
ニッコロバシ	0	1［0］	0	0

なお，「ニコロバシ」は，江戸のことばとして使われていた[24]。また，辞書の中には「ニコロバシ」の見出しに「ニッコロバシ」を載せるものもある。歴史的には「ニコロバシ」から，「ニッコロバシ」の語も現れ，その後，「ニコロガシ」「ニッコロガシ」に変化したということのようだ。

②専門分野での扱い

料理用語を掲載している『改訂調理用語辞典』には「ニコロガシ」で立項されている。「ニッコロガシ」などのほかの語は示されていない。意味は「煮かた」を示すだけで，「煮た物」という意味はのせていない。

一方，料理番組や料理雑誌では，「煮た物」としての「ニ（ッ）コロガシ」（特に促音形が多い）しか使われておらず，「煮かた」（作り方）では「ニ（ッ）コロガシ」は使われていない。

NHKの『きょうの料理』では，一つの言い方に決めていないようで，両方使われている。例えば，2009年9月16日放送の番組では「じゃがいもとベーコンの**煮ころがし**」が紹介されているが，2014年10月9日には「里芋の**煮っころがし**」という名称で料理を紹介している。

料理専門雑誌『オレンジページ』でも，「ニッコロガシ」で料理を紹介する場合が多いが，「ニコロガシ」も使われている。

料理レシピを掲載するウェブサイト「クックパッド」も同様で，「ニッコロガシ」と「ニコロガ

シ」両方の表現が使われているが，主に「ニッコロガシ」が使われている（100件のレシピを見たところ「ニコロガシ」は17件）。

③ネットなどでの使われ方

料理の専門分野だけでなく，一般的にどう使われているかを見るために，インターネットの検索エンジン「Google」で「煮ころがし」「煮っころがし」を検索した[25]。

“煮ころがし”（煮っころがしを除く）	42,400 件	17%
“煮っころがし”（煮ころがしを除く）	208,000 件	83%

「煮ころばし」「煮っころばし」も検索したが，江戸時代の料理の話など特殊な場面以外，インターネットではあまり使われていない（煮ころばし：629件，煮っころばし：200件）。

「現代日本語書き言葉均衡コーパス（以下，BCCWJ）」では，「ニコロガシ」と「ニッコロガシ」両方の語が見られる。使われる場面が異なっており，料理本や雑誌は「ニコロガシ」，ブログなどでは「ニッコロガシ」が使われている。

インターネットで「ニッコロガシ」「ニコロガシ」という料理名が付けられているものの作り方を見ると，「煮る」「煮詰める」という語が使われているだけで，「煮転がす」や「転がしながら煮る」などの語は使われていない。一般に，料理名として，「ニ（ッ）コロガシ」が定着してきているということが言えそうだ。

④放送での扱い

これらのことばが放送用語委員会で審議されたことはない。また，前述のとおり，『きょうの料理』では，どちらの形も使われている。

『NHKアクセント辞典』では，1985年版から「ニコロガシ」で立項され始めたが，「ニッコロガシ」は現行版にいたるまで立項されていない。

NHKのニュース原稿では，いずれの語も使われていない。

⑤調査結果

Q. 里芋の【煮ころがし／煮っころがし】
ニコロガシ ・・・・ 10%
ニッコロガシ ・・・ 89%

調査の結果，「ニッコロガシ」が多かった。年代別に見ても，すべての年代で「ニッコロガシ」が多い。

年代差はあまりないが，20歳代の男性で，「ニッコロガシ」がやや少なく，「ニコロガシ」が多くなっている。料理になじみがあるかないかが，語の選択に影響しているのだろうか。

「ニコロバシ」はもともと江戸のことばとして使われていたが，調査結果には，地域差は見られなかった。

2.2.2「ありたけ／ありったけ」

①辞典での扱い

「①あるもの全部。ある限り。②可能な限り物事をするさま。できるだけ」（『大辞林（第3版）』2006（平18）・三省堂）という意味の語である。

「アリタケ」「アリッタケ」以外に，「アリダケ」「アリギリ」「アリキリ」「アリッキリ」などの語も見られる。大正以前から戦前までは「アリタケ」の語形を主見出しにとる辞書が多いが，戦後以降は「アリッタケ」を主見出しにする辞書が多い（**表6**）。

表6　アリタケかアリッタケか
（辞書類での扱い／全61冊）

	大正以前	昭和（戦前）	昭和（戦後）	平成
アリタケ	16［16］	12［11］	9［6］	10［4］
アリッタケ	1［0］	5［1］	9［4］	16［12］

「アリッタケ」は「アリタケ」の強調表現である。『日本国語大辞典（第2版）』（2000（平12）・小学館）では「アリタケ」は，動詞「あり」に接尾語「たけ」がついたもので，「アリッタケ」は「アリタケ」を強めていう語と説明されている。

また，「アリッタケ」は，もともとは江戸もしくは東京のことばとして使われていたようだ。石黒魯平（1950）には「オンナジ，アリッタケ，ショッチュウなども，一寸いなせに感じられるかと思う。併しそれは東京方言でのことであり，阪東聲のなごりかもしれない」と記されている。『江戸語大辞典』（2003（平15）・講談社），『東京弁辞典』（2004（平16）・東京堂出版）にも「アリッタケ」の立項がある。

②ネットなどでの使われ方

“ありたけ”（ありったけを除く）	23,400件	3%
“ありったけ”（ありたけを除く）	750,000件	97%

インターネットの検索結果では「アリッタケ」と同じ意味の「アリタケ」はほとんど現れない（100件中87件が人名としての使用）。一方，「アリッタケ」は多く使われている。語を強めていうイメージからか，曲名としての使用が多い。例えば，『ありったけのLove Song』（2010），『ありったけの笑顔』（1996），『ありったけの愛』（2000），などの曲がある。BCCWJでも，「アリタケ」はほとんど使われていない（アリタケ：8例，アリッタケ：125例）。

③放送での扱い

これまでに放送用語委員会で審議されたことはない。『NHKアクセント辞典』では，1943年版で，「アリッタケ」が立項され，その後，1951年版から現行版までは「①アリタケ②アリッタケ」である。

NHKのニュース原稿では，1985年以降，現在まで，「アリタケ」は使われていない。「アリッタケ」は歌のタイトルやインタビューを中心に8例ある。

「親子絶叫大会」で「アリッタケの大声を出す」など，インタビューではなくニュース原稿としても「アリッタケ」が使われている例が3例見られた。

④調査結果

Q.【ありたけ／ありったけ】の声で叫ぶ
アリタケ　・・・・・・4%
アリッタケ　・・・・96%

すべての年代および男女ともに「アリッタケ」が多く，「アリタケ」はほとんど選ばれていない。地域差も見られない。

江戸・東京で多く使われていた語が，すでに一般化したと言えそうだ。ニュースや書きことばのように，あらたまったことばを使うような場面でも，主に「アリッタケ」が使われるようになってきている。

2.2.3「ひざこぞう／ひざっこぞう」

①辞典での扱い

「ひざがしら」のことを言う語である。「衣服などから現われ出た膝がしらを擬人化していったもの」（『日本国語大辞典（第2版）』）で，「ひざぼうず」「ひざかぶ」「ひざこぶし」などの語も

見られる。「ヒザッコゾー」と促音が入るのは，方言形で，奥多摩や埼玉，山梨，東京などの方言と説明されている[26)]。

『NHKアクセント辞典』で「～小僧」の語は「ヒザコゾウ」以外には，「悪たれ小僧」「いたずら小僧」「一つ目小僧」「三つ目小僧」「わんぱく小僧」の掲載があるが，促音が入る語はない。

国語辞典では「ヒザコゾウ」も「ヒザッコゾウ」も主見出しになっているものは少なく，「ヒザガシラ」「ヒザ」などを主見出しにしている辞書が多い（**表7**）。

表7　ヒザコゾウかヒザッコゾウか（辞書類での扱い／全61冊）

	大正以前	昭和（戦前）	昭和（戦後）	平成
ヒザコゾウ	2［0］	9［5］	10［1］	16［7］
ヒザッコゾウ	0	4［2］	1［0］	5［0］

②ネットなどでの使われ方

Googleによる検索の結果，「ヒザガシラ」と「ヒザコゾウ」が同じぐらい使われている。「ヒザッコゾウ」はあまり使われていない。

“ひざこぞう”（ひざっこぞうを除く）	41,100件	48%
“膝小僧”（膝っ小僧を除く）	316,000件	
“ひざっこぞう”（ひざこぞうを除く）	10,200件	2%
“膝っ小僧”（膝小僧を除く）	5,310件	
“ひざがしら”	10,600件	50%
“膝頭”	355,000件	

「ヒザッコゾウ」は，歌詞や曲名での使用が見られる。『ひとり寝の子守唄』（1969），『結婚しようよ』（1972）では，歌詞に「ヒザッコゾウ」が使われている。また，『ひざっこぞうマーチ』『ひざっこぞうの唄』といった子ども向けの曲のタイトルで使われている。歌に使われている用例から考えて，「ヒザッコゾウ」には幼児語としての響きがあるのかもしれない。

BCCWJでは，「ヒザッコゾウ」の用例はなく，「ヒザコゾウ」が4件出てくる。

③放送での扱い

放送用語委員会で審議されたことはない。

『NHKアクセント辞典』には1943年版から掲載されている。当初は「○ヒザコゾー　○ヒザッコゾー」だったが，1951年版から「①ヒザコゾー②ヒザッコゾー」となった。同じ意味の「ヒザガシラ」も1943年版から立項されているが，特に使い分けは示されていない。

ニュース原稿では「ヒザコゾウ」も「ヒザッコゾウ」も，使われていない。「ヒザガシラ」は，1985年以降，現在まで7件の用例がある。NHKの番組『きょうの健康』では専門番組のため「ひざ」「しつ関節」「ひざの関節」などの語を使う場面が多く，「ヒザコゾウ」「ヒザッコゾウ」といったことばだけが使われる場面はないようだ。BCCWJの検索結果や放送での使い方から考えて，「ヒザコゾウ」は俗な感じの残る語と言えそうだ。また，「ヒザッコゾウ」は子どもが使うことばとして認識されているのかもしれない。

④調査結果

Q.　子どもが【ひざ小僧／ひざっ小僧】をすりむく
ヒザコゾウ　・・・・85%
ヒザッコゾウ　・・・15%

前の2つの語とは異なり，促音のない形が多

い結果になった。すべての年代で「ヒザコゾウ」が多いことにかわりはないが，若い年代ほど「ヒザコゾウ」が多く，「ヒザッコゾウ」が少ない。

また，地域による差が見られる。どの地域も「ヒザコゾウ」が多いのにかわりはないが，群馬，長野は「ヒザコゾウ」と「ヒザッコゾウ」が半々に割れている（群馬（全15人）→53：47，長野（全27人）→56：44）。

2.2.4　促音についてのまとめ

今回の調査語のうち「アリッタケ」はすでに，促音形が一般化している語と言えそうだ。「ニコロガシ／ニッコロガシ」も同様で「ニッコロガシ」が一般的な語と言えそうだが，国語辞典にはあまり現れていない。

「ヒザコゾウ」については，地域による差や年代による差がやや見られ，促音形はさほど使われていない。

3. 語形のゆれ ～地域的分布～

この章で取り上げるのは，以下の4項目である。それぞれのペアは，事物・概念としてほぼ同じもの・ことを指す。なお「カッターシャツ」は，新村出編（2008）『広辞苑（第6版）』に「襟と袖口が縫いつけられた長袖のシャツ。もとは運動着だが，今はワイシャツと区別なく用いる」という記述がある。

ワイシャツ	～	カッターシャツ
おとおし	～	つきだし
つまみ	～	あて
駐車場	～	ガレージ

ここでは，『NHKアクセント辞典』（1998版）に掲載されている語形を，枠で囲んだ。ただし「つきだし」は，相撲の技の一つである「つきだし」を指す語として立項されているものと思われる。

つまり，「ワイシャツ」「おとおし」「つまみ」「駐車場」「ガレージ」は，放送でも用いる，一般性を備えた語である。一方，「カッターシャツ」「（料理の）つきだし」「あて」は，必ずしもそうであるとは言えない。

3.1 国語辞書での記述

それぞれの語に関して，見坊豪紀ほか編（2014）『三省堂国語辞典（第7版）』では，次のように記述している。ここで取り扱う語義の箇所に，下線を付した。

> ワイシャツ（名）〔ホワイト シャツ（white shirt）の変化〕背広のすぐ下に着る，そでの長いシャツ。［表記］俗に「Y シャツ」とも書く。
> カッターシャツ（名）〔もと，「勝った」の意味でつけた商標名。西日本方言〕ワイシャツ。カッター。

> お とおし［お通し］－トホシ（名）《料》酒のさかなとして最初に出す，簡単な料理。通しもの。つきだし。
> つきだし［突き出し］（名）①突き出た〈もの／こと〉。「―の窓」②〔関西方言〕《料》お通し。③〔すもうで〕突き出す わざ。

> つまみ［《▽摘み》・《▽撮み》］（名）①つまむこと。②つまんだ量。「ひと―の塩」⇒：ひとつまみ①。③つまんで持つ部分。④酒のさかなに出す，簡単な食べ物。つまみもの。おつまみ。
> あて［当て］（名）①見当（ケントウ）。見こみ。「就職の―がある」②たよりにすること。たのみ。「むすこを―にする・―にならない約束」③〔大阪などの方言〕酒のつまみ。［表記］③は，ふつう仮名書

きにする。

ちゅう しゃ［駐車］（名・自サ）用をたす間，また，次に使うまで，自動車などをとめておくこと。「―禁止・―場」⇒：停車。ガレージ（名）〔garage〕車庫。

ここでは，「カッターシャツ」「つきだし」「あて」については，それぞれ〔西日本方言〕〔関西方言〕〔大阪などの方言〕といった，使用地域に関する注記がなされている。

また「ガレージ」に関しては，林四郎ほか編（2012）『例解新国語辞典（第8版）』に，下記のような記述がある。

ガレージ（名）自動車の車庫。◇garage［方言］京都では，時間貸しの有料駐車（ちゅうしゃ）場のことを言う。

以上から，次のような区分をすることができる。

「一般的な語」：「ワイシャツ」「おとおし」「つまみ」「駐車場」
「地域的な語」：「カッターシャツ」「つきだし」「あて」「ガレージ」

3.2 先行調査

「ワイシャツ～カッターシャツ」については，文研で過去に全国調査をおこなったことがある（日高貢一郎（1979））。調査地点は全国159地点で，調査協力者はNHKの「農林水産通信員〔＝農林水産関連番組の制作に必要な各地の情報を提供してもらうために，NHKが委嘱していた各地の農林水産関係者（600人程度）〕」である。「カッターシャツ」は，西日本に集中的に分布している**（図6）**。黒崎良昭（2003）でも，ウェブ上でおこなわれたアンケート（全317件）の分析から同様の結果が導き出されており，あわせて「カッターシャツ」という命名について，大阪に本拠を置く運動具メーカーが1918（大正7）年におこなったものであることが示されている。

また日高貢一郎（1979）では，「駐車場～モータープール」というペアでの調査がおこなわれているが**（図7）**，「ガレージ」については取り上げられていない。

図6 「カッターシャツ」（1978年調査）

図7 「営業用駐車場」（1978年調査）

「あて〜つまみ」に関しては，平山輝男編著（1992）『現代日本語方言大辞典』に「さかな【肴】」という項が立てられている。この項の［東京方言］のところには，「サカナ［sakana］【名】酒を飲む時に添える食物。ビールや洋酒の場合は，オツマミとも言う。」という記述がある。またこの「さかな【肴】」の項で「あて」という方言形が掲げられているのは，［大阪］［岸和田］［奈良］［和歌山］［徳島］である。

著作権の都合により
掲載できません

「あて（アテ）」は，全国で流通している新聞・雑誌・書籍でもよく目にすることがあることばである（**写真１・用例集１**）。写真1の漫画の作者・西原理恵子は，1964年生まれ・高知県高知市出身である。

【用例集1】

「ここもメニューは多く，和風系や魚系のつまみ（アテ）が充実しています。」
（槇野修(2009)『ふだん着の京都　奥深い都を歩く』p.249）

「何より愉しいのは，店頭価格で買える缶詰。…【中略】…　戦後すぐに角打を始めてから，非常食として缶詰を扱っていたところ，いつの間にか常連客のアテになった。」
（自由酒場倶楽部（2010）『酒場を愉しむ作法』pp.23-24）

「その売場配置において，ビール売場のそばには何がありますか？ ポテトチップスなどのスパイシー系のお菓子や，チーズカマボコ，するめなど，とにかくお酒のアテになる食料品がずらりと並んでいることに気が付くでしょう。」
（金子哲雄＋「商業界」編集部編（2013）『「衝動買い」が止まらない』p.29）

「刻んだ酒盗にレモンをギュッと絞り，パセリのみじん切りをまぶします。これでどこにだしてもはずかしくない酒のアテができました。」
（オイ（2013）『オーイ！ つまみできたぞ』p.21）

「その好例が，濃い目に煮付けた「牛しぐれ煮」だ。ショウガの香りがしっかりときいた味わいは，ご飯だけでなく，酒のアテとしても抜群。」
（『自家製のススメ』（株式会社枻出版社，2010年）p.79）

「穴子の肝焼き　これだけのためにさばきたくなる　文句なしの酒のアテ」
（『食の教科書　魚のさばき方』（株式会社枻出版社，2010年）p.183）

「フレンチのアテ系フードと約100種のワインをお得に」
（『マップルマガジン 大阪'15』（昭文社，2014年）p.134）

【下線はすべて引用者（塩田）による】

3.3 調査結果

3.3.1 全体

全体の結果は，**図8，9，10，11**のようになっている。「ワイシャツ」という「一般的な語」のみを用いるというのは61%で，過半数を占めている。同様に，「つまみ」のみが76%，「駐車場」のみが60%となっている。「おとおし」のみにつ

図 8 「男性用の【カッターシャツ／ワイシャツ】を買う。」（全体）

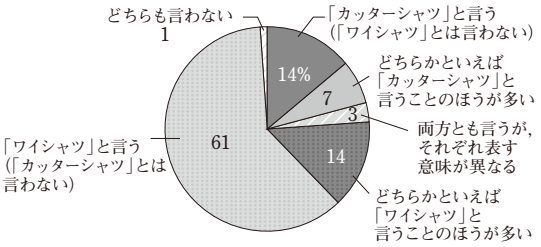


図 9 「居酒屋で，最初に【おとおし／つきだし】が出てくる。」（全体）

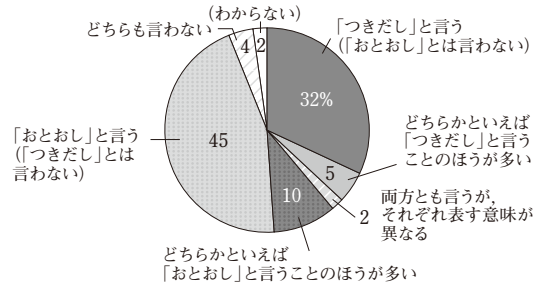


図 10 「居酒屋で，酒の【あて／つまみ】を注文する。」（全体）

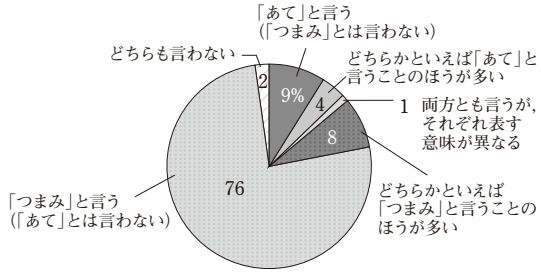
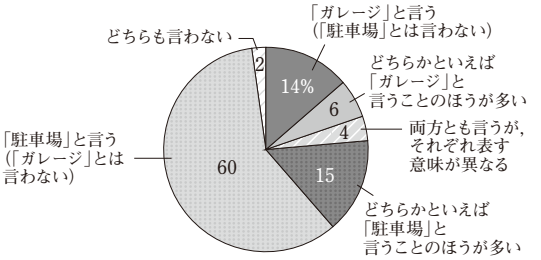


図 11 「自宅の【ガレージ／駐車場】に車を止める。」（全体）



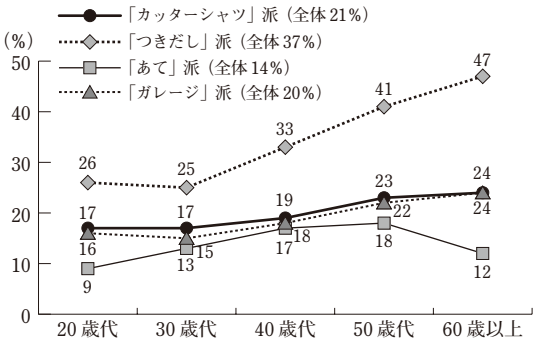
いては45％と半数には満たないが，選択肢の中では最も多い回答である。

これ以降，特に「地域的な語」に着目して考察する場合には，たとえば「『あて』と言う（『つまみ』とは言わない）」という選択肢と，「どちらかといえば『あて』と言うことのほうが多い」の数値に着目し，両者を合わせて「『あて』派」のように呼ぶことにする。

3.3.2 年代別

「地域的な語」を年代別にみると，「『つきだし』派」「『カッターシャツ』派」「『ガレージ』派」において，鮮明な変異の様相が観察される（**図12**）。年代が若くなるほど，これらの「地域的な語」の支持率が，下がっている。ただし「『あて』派」においては，そのような形にはなっていない。

図 12 「地域的な語」（年代別）



3.3.3 男女別

「『カッターシャツ』派」（男性22％：女性19％）と，「『ガレージ』派」（22％：18％）において，やや男女差がみられる。一方，「『つきだし』派」（37％：37％）と「『あて』派」（15％：13％）では，ほとんど差がない。

なおいずれにおいても，「『地域的な語』の割合は【男性≧女性】」といった数値を示している。

3.3.4 地域別

地域別にみると，「『カッターシャツ』派」(**図13**)と「『つきだし』派」(**図14**)は西日本全域に広く分布している〔＝西日本型〕のに対して，「『あて』派」(**図15**)と「『ガレージ』派」(**図16**)は特に関西に多くなっている〔＝関西型〕。

試みに「『カッターシャツ』派」の率の高いところをさらに年層別に分けてみると，それぞれの地域内で「高年層は高支持，若年層は比較的低支持」という傾向が見て取れる(**表8**)[27]。

図13 「男性用の【カッターシャツ／ワイシャツ】を買う。」(地域別)(%)

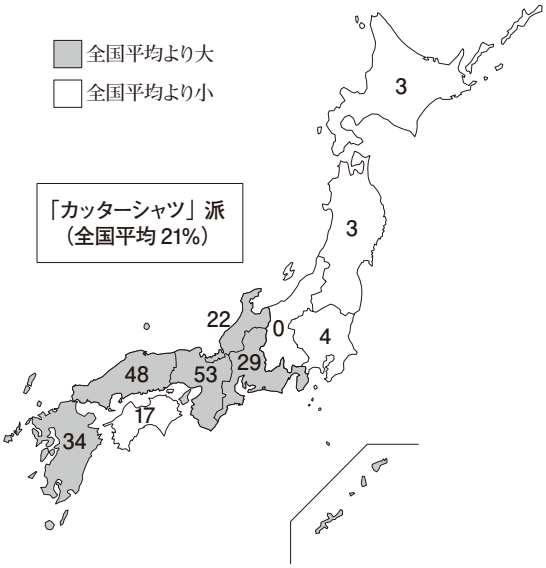


図14 「居酒屋で，最初に【おとおし／つきだし】が出てくる。」(地域別)(%)

図15 「居酒屋で，酒の【あて／つまみ】を注文する。」(地域別)(%)

図16 「自宅の【ガレージ／駐車場】に車を止める。」(地域別)(%)

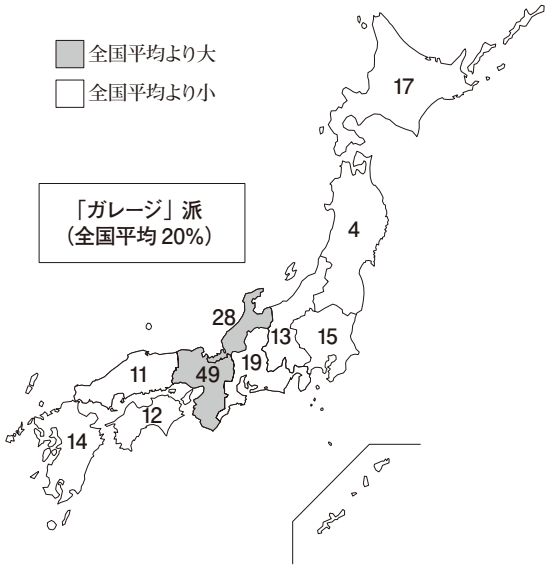


表 8 「『カッターシャツ』派」（地域年層別）

カッターシャツ			
関西（213 人）	53%		
	［～ 49 歳	（101 人）	49%］
	［50 歳～	（112 人）	57%］
中国（75 人）	48%		
	［～ 49 歳	（32 人）	41%］
	［50 歳～	（43 人）	53%］
九州沖縄（154 人）	34%		
	［～ 49 歳	（61 人）	25%］
	［50 歳～	（93 人）	40%］
全国（1,339 人）	21%		
	［～ 49 歳	（644 人）	18%］
	［50 歳～	（695 人）	24%］

さきほど3.1で，『例解新国語辞典（第8版）』の「京都では，時間貸しの有料駐車（ちゅうしゃ）場のことを言う。」という記述を示した。一方，今回の調査では，「自宅の【ガレージ／駐車場】に車を止める。」という形で質問しても地域差が表れることが確認できた。

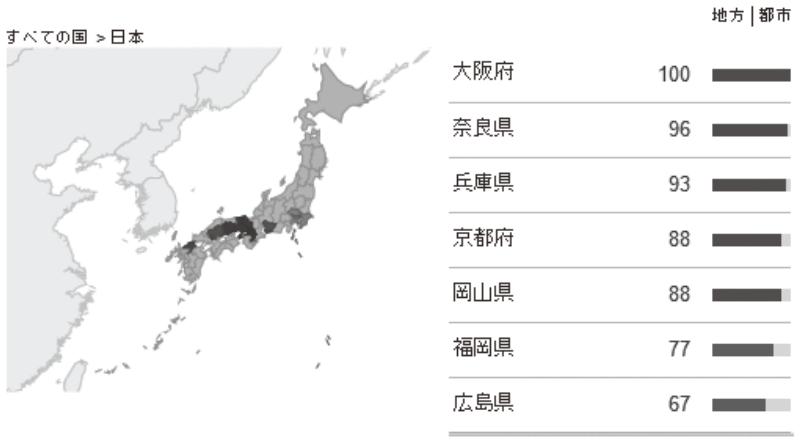
3.4 参考：ウェブ上での検索結果

語形使用の地域差を，ウェブ上に記された言語を材料として検証する方法が，これまでにも報告されてきている[28]。井上史雄（2011），岡田祥平（2012）や荻野綱男（2014）が，その代表的な例である。また桐村喬ほか（2014）では，ツイッター投稿データを対象として発信時の位置情報に基づいて都道府県別に集計し，考察をおこなっている。なお塩田雄大（2004）は，「Yahoo! グルメ」の掲載内容を利用して語形使用の地域差を探る方法を紹介したものだが，「Yahoo! グルメ」は2011年に「Yahoo! ロコ」に統合されてなくなってしまい[29]，現在ではこの手法は使えない。

こうした方法は，「語形として特殊である」ものについては，比較的容易に実行することができる。今回の例では，たとえば「カッターシャツ」などが該当する。

「Googleトレンド」［https：//www.google.co.jp/trends/］は，Googleにおいて，ある語が，いつ・どこから・どのくらい検索されたのかをある程度知ることができるサイトである。検索数の絶対数は表示されず，相対的な数として示される。たとえば「Googleトレンド」で検索キーワードを「カッターシャツ」，対象地域を「日本」としたところ，**図17**の結果が得られた（2014.12.9検索）。都道府県別には大阪府からの検索件数が最大であり，それを100とした場合の相対的な数値が示されている。日本地図を見ると，おおむね西日本からの検索が多い様相を示している。ただし，今回のほかの例では，「つきだし」（大阪府100で最大，次に東京60）では調査結果と矛盾しない結果

図 17 カッターシャツ（Google トレンドによる）



になるものの，「あて」および「ガレージ」では良好な結果にならなかった。

また，グルメ情報検索サイト「食べログ」［http://tabelog.com/］を活用する方法も提案することができる。「食べログ」の検索キーワード欄に「カッターシャツ」を入力したところ，「口コミ」の書き込み文のなかに80件の記述があることが示された（2014.12.9検索）[30]。これを都道府県別（それぞれの店の所在地）に見てみると，下記のようになっている。

「カッターシャツ」件数
（「食べログ」の書き込み）

【北海道】2
【東北】0
【関東】17（千葉2，東京10，神奈川5）
【東海】6（静岡1，岐阜2，愛知3）
【北陸】1（石川1）
【関西】41（滋賀1, 京都3, 大阪32, 兵庫4, 奈良1）
【中国】3（岡山2，広島1）
【四国】2（高知2）
【九州沖縄】8（福岡7，佐賀1）
（全80件，2014.12.9検索）

そもそも大都市圏にある店は数が多く，また書き込み数も多いことを念頭に置いておく必要があるが，大阪の32件という数値は東京の10件を上回っている点が目を引く。なお当然のことだが，ここでの都道府県別というのは，書き込みをした人の生育地とは本来関係がない。大阪の店に関するコメントを，東京出身者が書き込むこともあるからである。ただしそれでも割合としては，大阪の店に対するコメントは，近隣に在住している人が書き込むことが比較的多いものと想定される。

「つきだし」件数
（「食べログ」の書き込み）

【北海道】129
【東北】348（青森39，岩手141，宮城67，秋田40，山形20，福島41）
【関東】2,338（茨城29，栃木19，群馬22，埼玉96，千葉112，東京1,793，神奈川267）
【甲信越】121（山梨12，長野59，新潟50）
【東海】519（静岡119，岐阜32，愛知277，三重91）
【北陸】213（富山64，石川120，福井29）
【関西】3,677（滋賀108，京都508，大阪2,240，兵庫650，奈良108，和歌山63）
【中国】414（岡山80，広島193，鳥取63，島根31，山口47）
【四国】349（徳島86，香川68，愛媛112，高知83）
【九州沖縄】606（福岡341，佐賀15，長崎30，熊本53，大分29，宮崎32，鹿児島39，沖縄67）
（全8,714件，2014.12.9検索）

「つきだし」は書き込み件数が全体として非常に多いが[31]，そのなかでも大阪の数値は2,240件とかなり高い。

ただし，「あて」については，「食べログ」で検索をすると「タリアテッレ」や「行くあてもなく」などの文字列も数多く拾われてしまい，活用がむずかしい。

このように，「Googleトレンド」「食べログ」などの検索結果を用いて地域差を検証することもある程度は可能である。安定的な結果が得られる個別面接聴取法とあわせて，言語のさまざまな地域差を解明するのにあたっての重要なツールの一つとして位置づけることが可能である。

次号では，下記の項目について報告する予定である。

1.「雨が地面【を／に】たたきつける」
「～が【打ち上がる／打ち上げられる】」
2.「お～」の付くことば
3.「ひとごと」と「たにんごと」
「いちだんらく」と「ひとだんらく」
4.「全然」「歌わさせていただきます」「とか」
「っていうか」「あげる」「大丈夫ですか」
「やばい」の使用に関する意識

（たきしま まさこ／しおだ たけひろ
／やました ようこ／おおた まきえ）

注：

1）第1379回放送用語委員会では，「依存」など「〇存」関連の語をはじめ語の読みについて「用語決定」がおこなわれたが，新提案として，建物の助数詞「棟」の読みについても審議され，「トウ」の読みも認めることになった（運用は2014（平成26）年4月から）。

2）1966（昭和41）年の第626回放送用語委員会の決定の内容は，以下のとおり（参照：総合放送文化研究所放送用語研究部（1967）「NHK放送用語速報」（No.13））。

助数詞の使い方
［原則］ひとつの事物に使われる助数詞が2つ以上ある場合には，一般に広く使われているものを使う。
［助数詞適用の基準］
（中略）
3. 物品・物体
（中略）
（7）建物は「むね〈棟×※注〉で数える。ただし，住居の単位としては「戸」または「軒」を使う。
〈例〉倉庫1むね，工場など5むね，住宅2むねを全焼，住宅1,000戸を新築，肉屋・くだもの屋など4軒，3軒長屋。

※注　漢字の「棟」は，もともと当用漢字表にはなかったため，昭和41年の決定ではひらがなで「むね」とされた。

3）NHKの放送の指針を示す『NHKことばのハンドブック第2版』（2005・NHK放送文化研究所編）には，以下のように掲載されてきた。

［建物］
家屋　（一般）棟：住宅・アパート・倉庫・工場
〇ムネ　×トウ
戸：（住宅建設の場合など）
軒：（例　3軒長屋）
（災害時）棟：（住家・非住家とも）
〇ムネ　×トウ
軒・戸：（取材地で非公式の数字を示すときなど）
（災害復旧）戸：（例　仮設住宅1,000戸）

4）「トウ」という音の漢字は，「頭」「党」「島」など，「棟」以外にも多くあり，「トウ」と耳で聞いただけでは，どの字を表すのかは，とっさにわかりにくい。

5）ほかに，「Aでは「トウ」，Bでは「ムネ」と読む」7%，「Aではどちらも使うが，Bでは「トウ」」5%，「A，Bともに，どちらの読みも使う」4%，「Aでは「ムネ」，Bではどちらも使う」3%，「Aでは「トウ」，Bではどちらも使う」2%，「Aではどちらも使うが，Bでは「ムネ」」1%であった。これらは図4では，すべて「その他」とした。

6）助数詞「棟」の読みとして「トウ」を掲載したのは，『岩波国語辞典（初版）』（1963）が最初であり，語釈は「長い棟（むね）を持った建物。またそれを数える語」となっている。

7）『大辞林（第3版）』（2006）には，「～棟（トウ）」の複合語として，「病棟，別棟，研究棟，管理棟，住棟」などが掲載されている。また，最近のNHKのニュース原稿にも，「免震重要棟，理学部棟，作業棟，住宅棟，会議棟」などの複合語が使われている。

8）助数詞「棟（トウ）」の各辞書の語釈には，「むねの長い，大きな建物（を数えることば）」（『三省堂国語辞典（第7版）』（2014）），「大きい建築物や小さい構造物を数える時にも用いられる」（『新明解国語辞典（第7版）』（2012）），「建物の数を数えるのに用いる。例：アパート10～が建つ広さ」（『大辞林（第3版）』（2006）），「団地などを数える語」（『新選国語辞典（第9版）』（2011）），「「とう」と読めば，もっと大きな建物をかぞえることば」（『例解新国語辞典（第8版）』（2012））などがある。

9）『NHKアクセント辞典』は，最初の1943年版から，すべての版で助数詞「棟」の発音としては，［ムネ］のみを掲載していたが，1998年版の47刷（2014年5月発行）以降では，［トー］の発音も許容型として掲載することとなった。また，『NHKことばのハンドブック第2版』（2005）も，12刷（2014年4月発行）から「（マンションやビルなどの場合は［トー］とも）」の文言が書き加えられた（p.368）。

10）決定では，発音を表す［トー］という表記になっているが，本文では，調査の設問に合わせ，「一般的な読み方」という意味で「トウ」とした。

11）桜井茂治（1997）（『NHK アクセント辞典』（1998）巻末 p.231），秋永一枝（2014）「アクセント習得法則」の45（『新明解日本語アクセント辞典（第 2 版 CD 付き）』（2014）』巻末 p.60）を参照。

12）こうした用語の決定があると，『NHK アクセント辞典』も，対象となる語の語形（発音）を変更する。「返り咲く」「凍え死ぬ」については，2014 年 5 月の第 47 刷から掲載語の発音を変更した。なお，「返り咲く」の調査の詳細は太田眞希恵・山下洋子（2012），「凍え死ぬ」の調査の詳細は太田眞希恵（2010）を参照。「着替える」の調査については最上勝也（1990）・坂本充（1999）・塩田雄大（1999）を参照。

13）第 1195 回放送用語委員会（1999 年）では「着替える」の読みを「1. キカ゛エル　2. キカエル」と決定した際の審議の中で，「動詞［トーリカカル］，名詞［トーリカ゛カリ］という伝統的な読みについても，両方とも濁音で読む例が最近増えている。これについては現行どおりとし，積極的に注意喚起を促してゆきたい。」と確認した（塩田雄大（1999））。
放送現場からの質問としては，第 743 回放送用語委員会（四国／ 1971 年）に質問があったことが記録に残っている（西谷博信（1971））ほか，第 1341 回放送用語委員会（名古屋／ 2010 年）でも，「ニュース原稿で「通りかかる」という表現を非常によく見ます。「通りがかる」，「通りがかりの」と濁るのが普通だと認識していましたので違和感を覚えます。両方ありうる表現なのでしょうか。」という質問が寄せられた。

14）過去に NHK 放送文化研究所でおこなった調査とその結果は，以下のとおり。
▼ 1982 年 12 月「気になる放送のことば」アンケート（放送関係者・学識経験者・学生の計 381 人が回答）
→「通りがかる」という言い方について放送で「使ってよい」と答えた人は 28%，「使ってはいけない」が 47%，「どちらとも言えない」が 25%（浅井真慧（1984））。
▼ 1983 年 12 月 ～ 1984 年 1 月「発音のゆれアンケート」（有識者・大学生・高校生・NHK アナウンサーの計 820 人が回答）
→「日常の生活でどう言っているか」という質問に対し，「通りかかった」と言う人は，有識者 48%，大学生 47%，高校生 46%，アナウンサー 54%。「通りがかった」と言う人は，有識者 52%，大学生 53%，高校生 54%，アナウンサー 46%（菊谷彰（1984））。
▼ 1999 年 11 月「第 10 回ことばのゆれ全国調査」（全国の満 20 歳以上の男女 1,363 人が回答）
→「店の前を通り掛かると声をかけられた」の下線部分をあなたはどう読むかという質問に対し，「とおりかかる」71%，「とおりがかる」24%，どちらかといえば「とおりかかる」3%，どちらかといえば「とおりがかる」3%（柴田実・深草耕太郎（2000））。

15）第 2 章では調査結果について，回答選択肢のうち「「トオリカカル」と言う（「トオリガカル」とは言わない）」と「両方とも言うが，どちらかといえば「トオリカカル」と言うことのほうが多い」の回答率を足し合わせたものを「トオリカカルと答えた割合」として示す。調査における各問いや選択肢の内容，および単純集計結果は p.84 ～ 86 を参照。

16）動詞の連用形に付いて複合語を作る動詞「かかる」について，『明鏡国語辞典（第 2 版）』（2010）では次のように説明している。「≪動詞の連用形に付いて複合動詞を作る≫❶今にも…しようとする。かける。「日が沈み－」「死に－・おぼれ－」 ❷その方向に作用を及ぼして身を任せる。「もたれ－・寄り－・のし－」 ❸物事をしはじめる。「取り－・やり－・し－」」。一方で，同国語辞典には名詞に付く「かかる」は接尾語とし，「≪名詞に付いて，「がかる」の形で≫❶…の性質を帯びる意を表す。「芝居－・った声」「時代－・った建物」「左－・った意見」 ❷…の色を帯びる意を表す。「紫［黄色・黒み・オレンジ］－・った赤い色」」としている。

17）「オクフカイ／オクブカイ」の辞書調査については，太田眞希恵・山下洋子（2012）を参照。

18）『NHK アクセント辞典』は最初の 1943 年版からすべての版で「オクフカイ」という非連濁形のみを掲載していたが，1998 年版の 47 刷（2014 年 5 月発行）以降では「オクブカイ」も許容形として掲載することとなった。

19）『三省堂国語辞典（第 7 版）』（2014）には「奥深い」の語釈を次のように掲載している。「①〈表／入り口〉から遠い。②〔意味が〕深い。奥が深い。「書の－魅力（ミリョク）」」
なお，同辞書は第 7 版からこの語の見出し語を「おくぶかい」という連濁形に変更した。そのうえで語釈に「▽おくふかい」としてこの語形もあることを示している。第 6 版までの見出し語は「おくふかい」で，語釈に「▽おくぶかい」を掲載していた。

20）「こえがかり」「おこえがかり」はある。

21）例として「原稿書き，草取り，麦踏み，かるた取り，落穂拾い，旗取り」があげられている。

22）放送ではホテルや飲食店など接客業に携わる人が「ご注文が決まりましたら，お声掛け（コエガケ）ください」等と使うと答えている様子を紹介しているほか，“地域の防犯や校内のコミュニケーションを図るために 30 年程前には使われていた「声掛け（コエカケ）運動」ということばからの影響があったのではないか”とも紹介している。
（http：//www.nhk.or.jp/kininaru-blog/133944.html）

23）和語・漢語の場合は，有声子音の前に促音が現れることはないが，外来語の場合は，有声子音

の前で促音が現れることがある。例えば,「ベッド」「バッグ」などである。また，従来の共通語では［r］や［h］の前でも促音が現れることはないが,外来語の場合にはありうる。例えば,「マッハ」や「アッラー」などである。

24）『江戸語大辞典』（2003・講談社）と『江戸語辞典』（1991・東京堂出版）に「ニコロバシ」の立項が見られる。

25）インターネットの検索は，検索エンジン Google を使用して,2014 年 12 月 8 日におこなった。「ニ（ッ）コロガシ」以外の語についても同様。

26）『日本国語大辞典（第 2 版）』（2000・小学館）「ひざこぞう」参照。『現代日本語方言大辞典』（1992・明治書院）には，群馬，七尾，山梨で「ヒザコゾー」，奥多摩，静岡で「ヒザッコゾー」の使用が示されている。岐阜，京都，愛知には「ヒザコゾ」が示され,京都の「ヒザコゾ」には「共通語的」と説明されている。また,『東京弁辞典』（2004・東京堂出版）に「ひざこぞう」の転として「ひざっこぞう」が立項されている。

27）平松愛理作詞（1990）『部屋と Y シャツと私』の歌詞に「カッターシャツ」が用いられていないのは，象徴的である。平松愛理は 1964 年生まれ・兵庫県神戸市出身である。

28）なお，BCCWJ のデータを用いて語形の新旧を簡便に調べる方法を,塩田雄大（2014）で試みた。

29）http://blogs.yahoo.co.jp/y_cs_blog/26043789.html

30）「普段はカッターシャツ姿のサラリーマンが多いのですが」「小走りして結構汗をかいたのでカッターシャツの腕をまくってたんですが」「カッターシャツが醤油まみれです」「調理場の方もすべてカッターシャツにネクタイ姿で」「カッターシャツにスープが飛び散っておりました」「このスープパスタをお箸でいただくと、カッターシャツに飛び散りそうなんで」など。

31）「目につきだして」「肩をつきだして」「パサつきだして」など，関係のない文字列も拾われてしまうが,無視できる程度の少ない数である。

引用文献：

・秋永一枝（2014）「アクセント習得法則」『新明解日本語アクセント辞典（第 2 版 CD 付き）』三省堂
・浅井真慧（1984）「通りがかりの人が通りかかる」『放送研究と調査』34-2
・石黒魯平（1950）『標準語』明治図書出版社
・井上史雄（2011）「Google 言語地理学入門」『明海日本語』16
・NHK 放送文化研究所編（2005）「第 6 章　助数詞の使い方」『NHK ことばのハンドブック第 2 版』（p.368）NHK 出版
・NHK 放送文化研究所放送用語班「放送用語に関する質問　第 1377 回放送用語委員会（札幌）」（部内資料）
・太田眞希恵（2010）「若者に多い「ワカシラガ」,高年層に残るワカジラガ ～語形のゆれに関する調査（平成 22 年 2 月）から①～」『放送研究と調査』60-11
・太田眞希恵・山下洋子（2012）「ことばは“長いものに巻かれていく”？ ～ことばのゆれ調査（平成 23 年 11 月）から～」『放送研究と調査』62-12
・岡田祥平（2012）「インターネットを利用した方言語形分布調査の可能性－「もせるごみ」小考－」『生涯学習研究センター紀要』17
・荻野綱男（2014）『ウェブ検索による日本語研究』朝倉書店
・菊谷彰（1984）「「発音のゆれアンケート」から」『文研月報』34-6
・桐村喬・峪口有香子・岸江信介（2014）「方言の分析資料としてのマイクロブログデータ――アンケート調査との整合性」平成 26 年度日本地理学会発表要旨集 85
・金田一春彦（2005）「関東平野地方の音韻分布」『金田一春彦著作集第 8 巻』玉川大学出版部
・黒崎良昭（2003）「方言の東西分布（1）　－ワイシャツとカッターシャツ－」『そのだ語文』2
・坂本充（1999）「着替（カ）えるか，着替（ガ）えるか～第 9 回ことばのゆれ全国調査から①～」『放送研究と調査』49-3
・桜井茂治（1997）「共通語の発音で注意すること」『NHK 日本語発音アクセント辞典』1998 年版
・佐藤大和（1989）「複合語におけるアクセント規則と連濁規則」『講座 日本語と日本語教育 2　日本語の音声・音韻（上）』明治書院
・塩田雄大（1999）「用語の決定～「着替える」「肌寒い」「急坂」「重用」「ぶな林」「不登校・登校拒否」～」『放送研究と調査』49-4
・塩田雄大（2004）「インターネットでことばの地域差を調べることはできるか」『日本語学』23-6
・塩田雄大（2014）「語彙研究と「ことばの新旧」」『日本語學研究』40（韓国日本語学会）
・柴田実・深草耕太郎（2000）「「耳ざわりがよい」は耳障りか～第 10 回ことばのゆれ全国調査から～」『放送研究と調査』50-2
・総合放送文化研究所放送用語研究部（1967）「NHK 放送用語速報」（No.13）（部内資料）
・滝島雅子（2014）「ことば言葉コトバ　建物をどう数えるか」『放送研究と調査』64-6
・西谷博信（1971）「放送文章と用語　第 743 回放送用語委員会〔四国〕の記録から」『文研月報』21-9
・日高貢一郎（1979）「ことばの地域差（2）　－全国通信調査から－」『文研月報』29-4
・最上勝也（1990）「放送のことば「干ししいたけ」と「辛しじょうゆ」－「連濁のゆれ」一〇〇人アンケートから－」『放送研究と調査』40-7
・柳田征司（2003）「音韻史」上野善道編『朝倉日本語講座 3　音声・音韻』朝倉書店
・山下洋子（2014）「放送用語委員会（東京）用語の決定」『放送研究と調査』64-5

表9　辞書調査一覧

番号	調査語（発音）／辞書名・出版社・発行年	出版社	出版年（年号）	出版年（西暦）	助数詞「棟」	
					ムネ	トウ
1	日葡辞書	長崎版	慶長 8	1603	・	・
2	和英語林集成 初版・再版・3 版	日本横浜	慶応 3	1867 初版 1872 再版 1886 三版	・	・
3	和独対訳字林（レーマン）	日比谷・加藤	明 10	1877	・	・
4	漢英対照いろは辞典	国文社	明 21	1888	・	・
5	私版日本辞書言海	大槻文彦	明 22 ～ 24	1889 ～ 1891	◎ *1	・
6	日本大辞書	明法堂	明 25	1892	◎ *1	・
7	日本大辞林	宮内庁	明 27	1894	・	・
8	日本大辞典	博文館	明 29	1896	・	・
9	和英大辞典（ブリンクリー）	三省堂	明 29	1896	◎ *3	・
10	言海（縮刷，ちくま学芸文庫版）	六合館	明 37	1904	◎ *1	・
11	和仏小辞典（ルマレシャル）	三才社	明 37	1904	◎ *1	・
12	ことばの泉 日本大辞典	大倉書店	明 41	1908	◎ *2	・
13	俗語辞海	集文館	明 42	1909	・	・
14	新訳和英辞典（井上十吉）	三省堂	明 42	1909	・	・
15	辞林（辭林） 改訂版	三省堂	明 44	1911	◎ *1	・
16	辞海	郁文社	大 3	1914	◎ *1	・
17	大日本国語辞典	冨山房	大 4 ～ 8	1915 ～ 1919	◎ *1	・
18	新式辞典（芳賀矢一）	大倉書店	大 11	1922	◎ *1	・
19	スタンダード和英大辞典	大阪寶文館，東京寶文館，同文館	大 13	1924	・	・
20	ローマ字で引く国語辞典	冨山房	大 14	1925	◎ *1	・
21	広辞林（廣辭林）　第 7 版	三省堂	大 15	1926	◎ *1	・
22	日本大辞典　言泉	大倉書店	昭 2	1927	◎ *1	・
23	小辞林	三省堂	昭 3	1928	◎ *1	・
24	NEW 斎藤和英大辞典	日英社	昭 3	1928	◎	・
25	研究社新和英大辞典	研究社	昭 6	1931	◎	・
26	改修新式辞典（芳賀矢一）	大倉書店	昭 6	1931	◎ *1	・
27	国語発音アクセント辞典	厚生閣	昭 7	1932	◎	・
28	大言海	冨山房	昭 7 ～ 10	1932 ～ 1935	◎ *1	・
29	大辞典	平凡社	昭 9 ～ 11	1934 ～ 1936	◎ *1	・
30	辞苑	博文館	昭 10	1935		
31	増補新辞典	至文堂	昭 10	1935	・	・
32	アクセント表示　新辞海	三学社	昭 13	1938	・	・
33	言苑（戦前版）	博文館	昭 13	1938	・	・
34	言苑	博友社	昭 15	1940	・	・
35	標準日本語発音比較辞典	興南新聞社出版部	昭 16	1941	◎	・
36	小言林	全国書房	昭 24	1949	・	・
37	言苑（戦後版）	博友社	昭 24	1949	◎ *1	・
38	明解国語辞典 改訂版	三省堂	昭 27	1952	◎ *1	・
39	広辞苑　初版	岩波書店	昭 30	1955	◎ *1	・
40	角川国語辞典　第 30 版	角川書店	昭 32	1957	◎ *1	・
41	三省堂国語辞典　初版	三省堂	昭 36	1961	・	・
42	岩波国語辞典　初版	岩波書店	昭 38	1963	◎ *1	◎ *1
43	新明解国語辞典　初版	三省堂	昭 47	1972	◎ *1	◎ *1
44	日本国語大辞典	小学館	昭 47 ～ 51	1972 ～ 1976	◎ *1	・
45	広辞林　第 6 版	三省堂	昭 58	1983	◎ *1	・
46	新潮国語辞典　第 2 版	新潮社	平 7	1995	◎ *1	・
47	日本国語大辞典　第 2 版	小学館	平 12 ～ 14	2000 ～ 2002	◎ *1	◎
48	新潮現代国語辞典　第 2 版	新潮社	平 12	2000	◎ *1	・
49	明鏡国語辞典	大修館書店	平 14	2002	◎ *1	・
50	新和英大辞典　第 5 版	研究社	平 15	2003	◎ *1	・
51	大辞林　第 3 版	三省堂	平 18	2006	◎ *1	・
52	角川国語辞典　新版　第 416 版	角川書店	平 19	2007	◎ *1	・
53	広辞苑　第 6 版	岩波書店	平 20	2008	◎ *1	・
54	明鏡国語辞典　第 2 版	大修館書店	平 22	2010	◎ *1	・
55	新選国語辞典　第 9 版	小学館	平 23	2011	△ *1	◎ *2
56	現代新国語辞典　第 4 版	三省堂	平 23	2011	◎ *1	◎ *1
57	岩波国語辞典　第 7 版新版	岩波書店	平 23	2011	・	◎ *1
58	新明解国語辞典　第 7 版	三省堂	平 24	2012	◎ *1	◎ *3
59	例解新国語辞典　第 8 版	三省堂	平 24	2012	◎ *3	・
60	大辞泉　第 2 版	小学館	平 24	2012	◎ *1	・
61	三省堂国語辞典　　第 7 版	三省堂	平 26	2014	◎ *1	◎ *1
N アク 1	NHK アクセント辞典 1943 年版（初刷）	NHK	昭 18	1943	◎	・
N アク 2	NHK アクセント辞典 1951 年版（初刷）	NHK	昭 26	1951	◎	・
N アク 3	NHK アクセント辞典 1966 年版（初刷）	NHK	昭 41	1966	◎	・
N アク 4	NHK アクセント辞典 1985 年版（初刷）	NHK	昭 60	1985	◎	・
N アク 5	NHK アクセント辞典 1998 年版（初刷）	NHK	平 10	1998	◎	・
新アク 1	新明解アクセント辞典（初版）	三省堂	平 13	2001	◎	・
新アク 2	新明解アクセント辞典（初版・CD 付き）	三省堂	平 22	2010	◎	・
新アク 3	新明解アクセント辞典（第 2 版・CD 付き）	三省堂	平 26	2014	◎	・
	備考				*1：「建物・家を数えることば」 *2：「棟（むね）続きの家を数えることば」 *3：「一戸建ての家を数えることば」	*1：「もね」の長い，大きな建物を数えることば」 *2：「団地などの建物を数えることば」 *3：「大きい建築物や小さい構造物をかぞえる時にも用いられる」

◎：見出しがあり，語釈ものっている。（「アクセント辞典」（N アク 1 ～新アク 3）は，語釈なしのため，項目があれば◎とする）
○：見出しはあるが，語釈はなく「×××を見よ」「→×××」などとあり，またその対する語の中にも「○○○と言う」「＝○○○」などの形で，その単語が載っている。
△：見出しはあるが，語釈はなく，「×××を見よ」「×××と同じ」「→×××」などとなっている。

□：その語の見出しはないが，対の調査語の中に「×××とも言う」「＝×××」などの形でその単語が載っている。
■：掲載はあるが，読み不明。
◆：見出し語はないが，他の語の中にあり，読みがわかる。
・：掲載なし。
「（◎）」は，括弧付きでの掲載を示す。「◎1，◎2」の数字は両方掲載されているときの掲載順を示す。

通り掛かる		声掛け		煮転がし		有り丈		ひざ小僧	
トオリカカル	トオリガカル	コエカケ	コエガケ	ニコロガシ	ニッコロガシ	アリタケ	アリッタケ	ヒザコゾウ	ヒザッコゾウ
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	◎	・	・	・
・	・	・	・	・	・	◎	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	◎	・	・	・
・	・	・	◎	・	・	◎	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	◎	・	・	・
・	・	・	・	・	・	◎	・	・	・
・	・	・	・	・	・	◎	・	・	・
・	・	・	◎	・	・	◎	・	△	・
・	・	・	・	・*1	・	・	○	・	・
◎	・	・	・	・	・	◎	・	・	・
◎	・	◎	・	・*1	・	◎	・	・	・
◎	・	・	◎	・*1	・	◎	・	・	・
◎	・	・	◎	・*1	・	◎	・	△	・
・	◎	・	・	・*1	・	◎	・	・	・
・	◎	・	・	・	・	◎	・	・	・
・	・	・	・	・	・	◎	・	・	・
◎ *1	・	◎	・	・*1	・	◎	・	・	・
◎	・	・	◎	・*1	・*2	◎	・	◎	□
◆	・	・	・	・*1	・	◎	・	・	・
◎	△	・	・	・	・	◎	△	◎	・
◎	・	・	・	・	・	◎	△	・	
・	◎	・	・	・*1	・	◎	・	・	・
◎	・	・	・	・	・	◎1	◎2	◎1	◎2
・	◎	・	・	・*1	・	○	□	□	◎
◎	・	・	◎	・*1	・	◎	□	◎	○
◎ *1	・	◎	・	・*1	・	◎	・	◎	・
◎	・	・	・	・*1	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	◎	・	△	・
◎	・	・	・	・*1	・	◎	・	△	・
◎	・	・	・	・*1	・	◎	・	△	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
◎	・	・	・	・	・	◎ *1	◎ *1	△	・
◎	・	・	・	・*1	・	◎	・	△	・
◎	・	・	・	・*1	・	◎	○	△	・
◎	・	・	◎	◆ *1	・	◎	○	△	・
・	・	・	・	・	・	◎	□	△	・
◎ *1	・	・	・	・*1	・	□	◎	△	・
◎	・	・	・	・*1	・	・	◆	○	・
◎ *1	・	・	・	◎	・	□	◎	△	・
◎	・	・	◎	△ *1	◆ *1	◎	○	◎	△
◎ *1	・	・	・	○ *1	□ *1	△	◎	○	・
◎ *1	□	・	・	○ *1	・	◎	○	○	□
◎	□	・	◎	○ *1	△ *1	◎	○	◎	△
◎	・	・	・	◎	・	○	◎	◎	□
◎	・	・	・	◎	□	・	◎	◎	・
◎	・	・	・	◎	◎ *3	△	◎	△	・
◎	・	・	・	◎	□	○	◎	◎	□
◎	・	・	・	◎	・	◎	□	△	・
◎	・	・	・	◎	□	◎	○	○	・
◎	・	・	・	◎	□	・	◎	○	・
◎	・	・	・	◎	・	・	◎	○	・
◎	・	・	・	○	◎	・	◎	△	・
◎	・	・	・	◎	□	・	◎	○	・
◎ *1	・	・	・	◎	□	□	◎	◎	□
◎	・	・	・	・	◎	・	◎	◎	・
◎	・	・	・	◎	○	○	◎	◎	・
◎ *1	□	□	◎	○	◎	□	◎	○	・
◎	・	・	・	・	・	・	◎	◎	◎
◎	・	・	・	・	・	◎1	◎2	◎1	◎2
◎	・	・	・	・	・	◎1	◎2	◎1	◎2
◎	・	・	・	◎	・	◎1	◎2	◎1	◎2
◎	・	・	・	◎	・	◎1	◎2	◎2	◎1
◎	・	・	・	◎ 1*1	◎ 2*2	◎	◎	◎1	◎2
◎	・	・	・	◎ 1*1	◎ 2*2	◎	◎	◎1	◎2
◎	・	・	・	◎ 1*1	◎ 2*2	◎	◎	◎1	◎2

*1:「トオ（ホ）リ」の小見出し

*1:「ニコロバシ」あり
*2:「ニッコロバシ」（促音）あり
*3:促音「ッ」は省略可能。優先順位については記述なし

*1:優先順位については記載なし

2014年　ことばのゆれ調査　単純集計結果

【調査の概要】

1. 調査時期　2014（平成26）年1月10日～26日
2. 調査方法　調査員による個別面接聴取法
3. 抽出方法　層化副次（二段）無作為抽出法
4. 調査対象　満20歳以上の男女（全国）2,000人
5. 有効数（率）1,339人（67.0%）

Q1. 回答票に書いてある文の，下線を引いた部分を，あなたはどう読みますか。それぞれについてお答えください。

(1)「とても他人事とは思えない」
1.（ア）タニンゴト…… 63.4%
2.（イ）ヒトゴト…… 35.3
3.（ウ）その他……0.5
4.　　わからない……0.8

(2)「仕事が一段落ついた」
1.（ア）イチダンラク…… 55.0%
2.（イ）ヒトダンラク…… 44.6
3.（ウ）その他……0.2
4.　　わからない……0.2

Q2. 回答票に示す文の，下線を引いたところの言い方はおかしいでしょうか。それともおかしくないでしょうか。あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つ選んでください。

(1)「こちらのほうが，全然お得です」
1.（ア）おかしい…… 63.3%
2.（イ）おかしくない…… 23.1
3.（ウ）どちらともいえない…… 12.9
4.　　わからない……0.7

(2)「1曲歌わさせていただきます」
1.（ア）おかしい…… 35.8%
2.（イ）おかしくない…… 51.1
3.（ウ）どちらともいえない…… 12.4
4.　　わからない……0.7

Q3. 次に，回答票に示す文のカッコの中の言い方についておたずねします。あなたは，どちらの言い方をしますか。それぞれ1つだけお答えください。

(1)「男性用の【カッターシャツ / ワイシャツ】を買う。」
1.（ア）「カッターシャツ」と言う
（「ワイシャツ」とは言わない）…… 13.6%
2.（イ）「ワイシャツ」と言う
（「カッターシャツ」とは言わない）…… 60.6
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「カッターシャツ」と言うことのほうが多い ‥7.3
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「ワイシャツ」と言うことのほうが多い …… 14.1
5.（オ）両方とも言うが，
それぞれ表す意味が異なる……2.8
6.（カ）どちらも言わない……1.1
7.　　わからない……0.4

(2)「自宅の【ガレージ / 駐車場】に車を止める。」
1.（ア）「ガレージ」と言う
（「駐車場」とは言わない）…… 13.9%
2.（イ）「駐車場」と言う
（「ガレージ」とは言わない）…… 59.5
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「ガレージ」と言うことのほうが多い ……6.0
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「駐車場」と言うことのほうが多い …… 15.1
5.（オ）両方とも言うが，
それぞれ表す意味が異なる……3.5
6.（カ）どちらも言わない……1.9
7.　　わからない……0.1

(3)「居酒屋で，酒の【あて / つまみ】を注文する。」
1.（ア）「あて」と言う
（「つまみ」とは言わない）…… 9.4%
2.（イ）「つまみ」と言う
（「あて」とは言わない）…… 75.6
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「あて」と言うことのほうが多い ……4.1
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「つまみ」と言うことのほうが多い ……7.6
5.（オ）両方とも言うが，
それぞれ表す意味が異なる……0.9
6.（カ）どちらも言わない……2.1
7.　　わからない……0.2

(4)「居酒屋で，最初に【おとおし / つきだし】が出てくる。」
1.（ア）「おとおし」と言う
（「つきだし」とは言わない）…… 45.4%
2.（イ）「つきだし」と言う
（「おとおし」とは言わない）…… 31.7
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「おとおし」と言うことのほうが多い ……9.9
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「つきだし」と言うことのほうが多い ……5.4
5.（オ）両方とも言うが，
それぞれ表す意味が異なる……1.8
6.（カ）どちらも言わない……4.1
7.　　わからない……1.6

Q4. 回答票に示す文の下線を引いた部分の読み方についておたずねします。あなたは，どの読み方をしますか。この中から1つだけお答えください。

(1)「山の奥深い場所にある湖」
1.（ア）「オクフカイ」と言う
（「オクブカイ」とは言わない）…… 21.0%
2.（イ）「オクブカイ」と言う
（「オクフカイ」とは言わない）…… 66.6
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「オクフカイ」と言うことのほうが多い ……5.2
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「オクブカイ」と言うことのほうが多い ……6.8
5.（オ）このことばを知らない……0.1
6.　　わからない……0.3

(2)「近所の人に声掛けする」
1.（ア）「コエカケ」と言う
（「コエガケ」とは言わない）…… 65.6%
2.（イ）「コエガケ」と言う
（「コエカケ」とは言わない）…… 24.0
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「コエカケ」と言うことのほうが多い ……6.7
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「コエガケ」と言うことのほうが多い ……3.2
5.（オ）このことばを知らない……0.3
6.　　わからない……0.2

(3)「事故現場を通り掛かる」
1.（ア）「トオリカカル」と言う
（「トオリガカル」とは言わない）…… 67.6%
2.（イ）「トオリガカル」と言う
（「トオリカカル」とは言わない）…… 21.8
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「トオリカカル」と言うことのほうが多い ‥‥6.7
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「トオリガカル」と言うことのほうが多い ‥‥3.5
5.（オ）このことばを知らない……0.2
6.　　わからない……0.1

Q5. 回答票に示す文のカッコの中の言い方についておたずねします。あなたは，どの言い方をしますか。それぞれ**1つだけ**お答えください。

(1)「里芋の【煮ころがし / 煮っころがし】」

1.（ア）「ニコロガシ」と言う
（「ニッコロガシ」とは言わない）……7.7%
2.（イ）「ニッコロガシ」と言う
（「ニコロガシ」とは言わない）…… 82.7
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「ニコロガシ」と言うことのほうが多い ……2.1
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「ニッコロガシ」と言うことのほうが多い ……6.3
5.（オ）このことばを知らない……0.8
6. わからない……0.3

(2)「【ありたけ / ありったけ】の声で叫ぶ」

1.（ア）「アリタケ」と言う
（「アリッタケ」とは言わない）……2.9%
2.（イ）「アリッタケ」と言う
（「アリタケ」とは言わない）…… 91.0
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「アリタケ」と言うことのほうが多い ……1.0
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「アリッタケ」と言うことのほうが多い ……4.8
5.（オ）このことばを知らない……0.1
6. わからない……0.1

(3)「子どもが【ひざ小僧 / ひざっ小僧】をすりむく」

1.（ア）「ヒザゴゾウ」と言う
（「ヒザッコゾウ」とは言わない）…… 76.4%
2.（イ）「ヒザッコゾウ」と言う
（「ヒザゴゾウ」とは言わない）…… 11.4
3.（ウ）両方とも言うが，どちらかといえば
「ヒザゴゾウ」と言うことのほうが多い ……8.3
4.（エ）両方とも言うが，どちらかといえば
「ヒザッコゾウ」と言うことのほうが多い ……3.7
5.（オ）このことばを知らない……0.0
6. わからない……0.2

Q6. 回答票に示す文の，下線を引いた部分の「棟」ということばの読み方についてうかがいます。

> A．「平屋建（ひらやだ）ての住宅など5棟」
> B．「5棟のマンション」

(1) まず，Aについてはどう読みますか。**1つだけ**お答えください。

1.（ア）「ゴトウ」と読む …… 38.1%
2.（イ）「ゴムネ」と読む …… 50.6
3.（ウ）「ゴトウ」とも「ゴムネ」とも読む …… 10.1
4. わからない……1.3

(2) 続いて，Bについてはどう読みますか。**1つだけ**お答えください。

1.（ア）「ゴトウ」と読む …… 74.2%
2.（イ）「ゴムネ」と読む …… 15.4
3.（ウ）「ゴトウ」とも「ゴムネ」とも読む ……9.0
4. わからない……1.4

Q7. 放送でアナウンサーが使うことばについておたずねします。アナウンサーは男性，女性いずれの場合も含みます。回答票に示すことばの中で，放送で，例えば「砂糖」を「お砂糖」というように，「お」を付けて言ってもおかしくないものはどれですか。**いくつでも**選んでください。

1.（ア）米（こめ）…… 79.6%
2.（イ）赤飯（せきはん）…… 57.1
3.（ウ）すし…… 78.2
4.（エ）弁当…… 75.0
5.（オ）皿…… 74.8
6.（カ）尻（しり）…… 75.1
7.（キ）みやげ…… 83.3
8.（ク）ふろ…… 75.7
9.（ケ）墓（はか）…… 78.9
10.（コ）祭り…… 74.4
11. この中にはない ……7.2
12. わからない ……0.8

Q8. テレビで大雨を伝えるニュースの中で，どしゃぶりの映像にあわせてアナウンサーが読み上げる文についてうかがいます。

> A．「大粒の雨が地面をたたきつけています。」
> B．「大粒の雨が地面にたたきつけています。」
> C．「大粒の雨が地面にたたきつけられています。」

(1) まず，A．「大粒の雨が地面をたたきつけています。」という文は，言い方としてどのように感じますか。あなたのお考えに近いものをお答えください。

1.（ア）おかしい…… 22.2%
2.（イ）おかしくない…… 76.2
3. わからない……1.6

(2) 次に，B．「大粒の雨が地面にたたきつけています。」という文は，言い方としてどのように感じますか。あなたのお考えに近いものをお答えください。

1.（ア）おかしい…… 64.2%
2.（イ）おかしくない…… 34.2
3. わからない……1.6

(3) 次に，C．「大粒の雨が地面にたたきつけられています。」という文は，言い方としてどのように感じますか。あなたのお考えに近いものをお答えください。

1.（ア）おかしい…… 47.9%
2.（イ）おかしくない…… 50.3
3. わからない……1.9

Q9. 次の2つの文を読んで，あなたのお考えに近いものを1つだけお答えください。

> A．「花火が打ち上げられる。」
> B．「花火が打ち上がる。」

1.（ア）AもBもおかしくない…… 44.8%
2.（イ）Aはおかしくないが，Bはおかしい…… 40.3
3.（ウ）Aはおかしいが，Bはおかしくない…… 11.4
4.（エ）AもBもおかしい……3.2
5. わからない……0.3

Q10. 次の2つの文を読んで，あなたのお考えに近いものを1**つだけ**お答えください。

> A．「ロケットが打ち上げられる。」
> B．「ロケットが打ち上がる。」

1.（ア）AもBもおかしくない…… 33.7%
2.（イ）Aはおかしくないが，Bはおかしい…… 55.8
3.（ウ）Aはおかしいが，Bはおかしくない……8.1
4.（エ）AもBもおかしい……2.1
5. わからない……0.4

Q11. あなたは，次のような「とか」の使い方についてどう思いますか。この中から**1つだけ**お答えください。

> 「残業したら，そのぶん手当とか出るんですか？」

1.（ア）おかしいとは思わないし，自分でも使う…… 27.9%
2.（イ）おかしいとは思わないが，
自分では使わない…… 15.9
3.（ウ）おかしいとは思うが，自分でも使う…… 20.1
4.（エ）おかしいと思うし，自分でも使わない…… 35.3
5. わからない……0.9

Q12. あなたは，次のような「っていうか」の使い方についてどう思いますか。この中から**1つだけ**お答えください。

> （眼鏡店でAさんが眼鏡をかけてみて）
> 「これ，どう？」
> 「っていうか，こっちのほうが似合いそう。」

1.（ア）おかしいとは思わないし，自分でも使う････ 18.1%
2.（イ）おかしいとは思わないが，
　　　自分では使わない････････････････････････ 13.1
3.（ウ）おかしいとは思うが，自分でも使う････････ 21.2
4.（エ）おかしいと思うし，自分でも使わない･･････ 46.2
5.　　　わからない････････････････････････････････1.3

Q13. あなたは，次のような「あげる」の使い方についてどう思いますか。この中から**1つだけ**お答えください。

> （親が子に）「花に水をあげておいて。」

1.（ア）おかしいとは思わないし，自分でも使う････ 69.2%
2.（イ）おかしいとは思わないが，
　　　自分では使わない･･････････････････････････8.9
3.（ウ）おかしいとは思うが，自分でも使う･･････････9.2
4.（エ）おかしいと思うし，自分でも使わない･･････ 12.4
5.　　　わからない････････････････････････････････0.3

Q14. あなたは，次のような「大丈夫ですか」の使い方についてどう思いますか。この中から**1つだけ**お答えください。

> （レストランで店員が客に）「お水のおかわりは大丈夫ですか？」
> （「いりませんか，必要ありませんか」という意味で）

1.（ア）おかしいとは思わないし，自分でも使う････ 23.0%
2.（イ）おかしいとは思わないが，
　　　自分では使わない････････････････････････ 13.1
3.（ウ）おかしいとは思うが，自分でも使う････････ 14.8
4.（エ）おかしいと思うし，自分でも使わない･･････ 48.8
5.　　　わからない････････････････････････････････0.3

Q15. あなたは，次のような「やばい」の使い方についてどう思いますか。この中から**1つだけ**お答えください。

> 「あの人，かっこいいよね。」
> 「うん，やばいよ。」
> （「すてきだ，かっこいい」という意味で）

1.（ア）おかしいとは思わないし，自分でも使う･･････9.3%
2.（イ）おかしいとは思わないが，
　　　自分では使わない････････････････････････ 12.8
3.（ウ）おかしいとは思うが，自分でも使う････････ 15.2
4.（エ）おかしいと思うし，自分でも使わない･･････ 61.7
5.　　　わからない････････････････････････････････1.0

Q16. 次に，ほかの人との付き合い方についておたずねします。ここにあげるもののうち，あなたにはどれが最もあてはまりますか。**1つだけ**お答えください。

1.（ア）ふだん話す人の数は多く，
　　　本音で話すことが多いと思う･･････････････ 21.8%
2.（イ）ふだん話す人の数は多いが，
　　　本音で話すことが少ないと思う････････････ 30.8
3.（ウ）ふだん話す人の数は少ないが，
　　　本音で話すことが多いと思う･･････････････ 26.8
4.（エ）ふだん話す人の数は少なく，
　　　本音で話すことが少ないと思う････････････ 17.4
5.（オ）ふだん話す人はいない･･････････････････････2.2
6.　　　わからない････････････････････････････････1.0

Q17. 次の中に，あなたがふだん友人と話すときにしていること，感じていることがありますか。あてはまるものがあれば，**いくつでも**お答えください。

1.（ア）なるべく，相手の考え方には
　　　反対しないようにしている････････････････ 42.3%
2.（イ）自分の考え方に反対されるのはいやだ･･････ 16.4
3.（ウ）なるべく，相手のプライドは
　　　傷つけないようにしている････････････････ 68.4
4.（エ）自分のプライドが傷つけられるのはいやだ　27.7
5.（オ）なるべく，相手のプライバシーには
　　　深入りしないようにしている･･････････････ 61.8
6.（カ）自分のプライバシーに
　　　深入りされるのはいやだ･･････････････････ 39.1
7.（キ）相手の話がおもしろくなくても，
　　　なるべく熱心に聞くようにしている････････ 47.9
8.（ク）自分の話がおもしろくなくても，
　　　熱心に聞いてもらいたい･･････････････････ 10.9
9.（ケ）なるべく，本音の話を
　　　しないようにしている････････････････････ 10.4
10.（コ）なるべく，対立しそうな話題は
　　　避けるようにしている････････････････････ 47.6
11.（サ）この中にはない････････････････････････････3.4
12.　　　その他････････････････････････････････････0.1
13.　　　わからない････････････････････････････････0.6

Q18. ここにあげるもののうち，しいて言うと，あなたはどちらがあてはまりますか。**1つだけ**お答えください。

1.（ア）何をする場合でも，
　　　同じ友人と行動する場合が多い････････････ 25.9%
2.（イ）何をするかによって，それに応じた友人を
　　　選んで行動する場合が多い････････････････ 69.7
3.　　　わからない････････････････････････････････4.4

全体	性別		年齢				
	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
1,339人	656	683	157	237	250	216	479
100.0%	49.0	51.0	11.7	17.7	18.7	16.1	35.8

全体	男性の年齢					女性の年齢				
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
1,339人	72	111	109	114	250	85	126	141	102	229
100.0%	5.4	8.3	8.1	8.5	18.7	6.3	9.4	10.5	7.6	17.1